

山形県の古木・名木 No.7

松保の大スギ (まつほのおおすぎ)

西村山郡大江町大字小清字松保547乙

大江町松保にあり、根回り14.7m、幹回り10.6m、高さおよそ26mとなっている。主幹は、約10mのところから四幹に分かれ、枝は高さ約3メートルのところから多数発生し、西側の一枝は地に接して着根し親株から離れている。

樹齢は、約一千百年と推定され、県下随一のスギ巨樹となっている。

昭和28年に山形県天然記念物に指定されている。

〔山形県林業改良普及協会〕

(案内略図)



松保の大スギ

樹齢 約1100年、根周14.7m、胸高直径3.38m、約3mの上部で多くの枝を分かち、枝は四方に張り出して垂れ下がり、西側の一枝は地に接して着根し、すでに親木と離れて独立している。

主幹は約10mの上部で四幹に分かれ直上し、高さおよそ26mにおよび、樹冠は円錐形をなして一樹で森を形づくっている。

日本海側に自生する杉の一種で、山形県下の杉では第1位の巨樹とされている。

昭和28年8月31日山形県指定天然記念物となる

大江町教育委員会

【森林やまがた31号(1999年10月)記載】